

事業所名

児童デイサービス ほーぷ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

1 日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|-----|----|---------|-----|---|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | ①生きる力を育み、未来の子どもたちへの支援をする。 ②自身をつけ、自立を目指し受給者証を返納を目標とする支援をする。 | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 生きる力を育む。（身辺市立自立支援：着衣、着脱、排泄、片付け、健康、体力作りなど SST：人と人の関わり、コミュニケーション、意思表示など） 子ども達の気持ちに寄り添い、声を聞く。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 10 時 | 0 分 | から | 19 時 | 0 分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ①健康管理 ・日々検温や手洗い等で感染対策を行い、健康管理を行います。 ②日常生活訓練・お子様に合わせて食事マナー、買い物などの生活上必要な習慣を身につけます。清潔 ③身辺自立支援・着衣、着脱、排泄（おむつ等）、片付けなど、子どもたちに合わせて実施し習慣化できるように支援します。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ①散歩する中で、子どもたちに歩き方を意識させて、下半身や背中の筋力強化や基礎代謝アップを目指します。 ②様々な物を使って指先運動やからだ全体を使った運動の支援をします。 ③晴れていれば火、木、金曜日に野外活動（公園など）を行います。運動療法 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ①散歩をしながら脳に影響を与え、新しい道を探したり景色を記憶することで、海馬の神経回路が強化され、記憶力や空間認知力が向上します。 ②見通しをしっかりと持たせるため、日々の活動スケジュール・日付・曜日・を視覚や声掛け（文字が読めない子どもたち）で支援します。 ③買い物学習で自分でおやつを選び、自分でおやつを決めて買う。ことができるよう支援します。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ①コミュニケーション ・自分の思いや要求、相手への伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを支援します。 ②非コミュニケーション・発語が難しい子どもたちには絵カードやジェスチャーなどを用いて言葉以外のコミュニケーションを促し支援をします。 ③集団活動の中で、他の子どもたちとの関わりの中で、難しい場面（トラブルなど）では職員が間に入り支援します。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | SST（ソーシャルスキルトレーニング）に取り組んでいます。例えばルールや他社交流、共同行動、あいさつ、相手の気持ちを察する、意思表示など、社会に必要なスキルを身につけるため職員が支援します。 | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 送迎時やSNS、ラインでご家族へ活動の様子などを共有します。 いつでもご家族の相談しやすい環境があります。 | | | 移行支援 | | 他の関連機関と連携、情報共有などを行い、移行支援会議などに積極的に参加します。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域の公共施設を利用し、地域資源（児童館、公園、図書館など）を活用します。 ボランティア活動を行うために関係機関と連携を取ります。 | | | 職員の質の向上 | | 定期的な研修を行い、スキル向上を行います。 職員ミーティングを毎日行います。 | | | |
| 主な行事等 | | 各季節（ハロウィンで地域にお菓子を買いに行った。事業所でお菓子を配った。クリスマス会で親兄弟が来てケーキ作り、宝探しを行った。初詣に行った。節分は職員が鬼になって豆まきを行った。）の催しで親子や兄弟の参加できるイベントを実施しています。 お誕生日会などを行います。 | | | | | | | | |